

様々な活動を通して技能の向上を図る

本日、『中国語』の授業で、自己紹介を行っていました。短い時間でしたが、基本形をもとに自分の趣味や特技などを笑顔で紹介していたのが印象的でした。

みなさん こんにちは 大 家 好！(ダー ジャー ハオ)

私は 大田市に住んでいます 我 住 在 大 田 市 (ウォー ジュー ザイ ダーティエン シー)

・・・ この様な感じで自分を表現していました。

限られた時間の中で中国語を学んでいるのですから、この授業で十分に中国語を理解し中国語でコミュニケーションをとることは難しいことです。しかし、この様な授業を通して、中国語や中国文化をはじめ外国の文化などに興味を持つことは、これからグローバル化がますます進む中で非常に重要だろうと思います。東京オリンピック・パラリンピック、大阪万博など国際的な大会などに多くの外国人が日本を訪れ、島根県でもここ数年外国からの観光客数を増やす取り組みや、働く場として外国人に頼るなど多国籍化や、言語・文化の多様化が進みつつあります。この授業をきっかけに他国語に興味を持ち、自分で学びながら多くの国の人々とコミュニケーションがとれるような人に育ってほしいと、今日の自己紹介を聞きながら感じました。「石見銀山の観光案内を、中国語や韓国語、英語等で邇摩高生ができるようになるといいね。」などと、一部の教員とはこんな夢のような話もしています。

最後に、今日が誕生日 [生日快乐] の私に全員でハッピーバースディを中国語で歌ってくれました。

生徒の皆さんと授業担当教員に 谢谢。



また、本日は福祉系列2・3年生31名が救命救急講習を行いました。大田市消防署から2名の職員の方に来ていただき、3時間みっちり緊急時に備え応急手当が迅速・適切にできるよう、その知識や技能を学びました。いざというときに心肺蘇生やAEDが適切に行え、使用できることは勇気がいることなのですが、この様に継続して講習会を受けることで、その時の行動をイメージし、いざというときの“準備”を怠らない姿勢は、心肺蘇生法やAEDの使い方を「知っている」と同時に「できる」ことにつながっていくのでしょうか。



さらに、昨日は農業系列2年生園芸モデルの生徒が仁万まちづくりセンターで苔玉教室を実施したり、明日は林業体験学習に出かけたりと、生徒は多くの実体験を通して専門性や職業人としての資質・能力を磨いています。

17日(金)には学習成果発表会が行われ、各学年次の発表や課題研究発表が行われ、「伝える」と「聞くこと」の能力の向上を目指します。

